

令和4年1月17日

在宅医療関係者 様

鹿児島市在宅医会  
会長 五反田 満幸

## 鹿児島市在宅医会事例検討会（オンライン）の開催について（ご案内）

時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

鹿児島市在宅医会では、会員並びに多職種・多施設の連携と協力を深め、鹿児島市地域のより良い在宅医療支援体制を構築することを目的に、事例検討会を開催いたしております。

今回は下記内容にて事例発表を行いますのでご案内いたします。下記リンク先からお申込みくださるようお願いいたします。上限の参加人数が決まっておりますので、申し込み状況によっては視聴できないことがありますので、ご了承ください。

### 記

#### < 令和3年度第3回鹿児島市在宅医会事例検討会（オンライン） >

日 時 令和4年1月27日（木）19時～20時30分

開催方法 Zoomウェビナー配信

対 象 鹿児島市在宅医会 会員、その他在宅医療関係者

参加者 上限100人

登録参加リンク先

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_9a3mkHFWQ3-oSGaC-PB4gg](https://zoom.us/webinar/register/WN_9a3mkHFWQ3-oSGaC-PB4gg)

#### 【次第】

テーマ：「大脳皮質基底核変性症のご本人と家族に寄り添って  
～医療・介護の多職種連携による支援～」

演題①：「症例の臨床経過と医療支援について」

古田 利久 先生（ふるたクリニック）

演題②：「本人・家族の想いに寄り添いながら、医療・介護との連携」

南谷 まゆみ 介護支援専門員（介護支援センターにじの郷たにやま）

演題③：「大脳基底核変性症を呈した症例を通して

～在宅生活を継続して行くための取り組み～」

田代 勇太 作業療法士（訪問リハビリテーションほのぼの）

演題④：「大脳皮質基底核変性症の診断後から人工呼吸器導入までを支えた  
介護介入」

上谷 博美 看護師（訪問看護ステーション優美）

【連絡先】鹿児島市医師会地域医療課（担当 蔵前） TEL：226-3737

FAX：225-6099 / E-mail：m-kuramae@city.kagoshima.med.or.jp